

添付資料

「対話 in 山形 2012」事後アンケート（2012/7/21） まとめ： 林 勉

参加学生：21名 アンケート回答者：21名

(1) 講義の内容は満足のものでしたか？その理由は？

とても満足した：14名

理由：

- ・放射性廃棄物のわかりやすい解説はとてもよかった。
- ・わかりやすく理解しやすかった。
- ・原子力の見方を変えてくれる講義だったから。
- ・詳しくてわかりやすかったから。
- ・基本的なことを中心にわかりやすかったから。
- ・丁寧に初歩から教えていただいた。
- ・普段の講義で聞けない内容だったから。
- ・疑問に思っていたことをわかり易くおしえてもらえた。
- ・まとめて話が聞けてとてもためになった。

ある程度満足した：6名

理由：

- ・原子力発電について多く知ることができた。
- ・理解を深めることができたから。
- ・専門家のまとまった意見が聴けたから。
- ・資料が見やすく話がわかりやすかったから。
- ・原子力発電について詳しく知ることができた。

やや不満だ、大いに不満だ：0名

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？

とても満足した：16名

理由：

- ・メディアでは得られない話や色々な発電方法に係る話が聞けた。
- ・実際に原子力に関わってきた方々の生の発言を聞けた。
- ・もっと聞きたかったが内容は新たな意見に触れる良い機会になった。
- ・どんな些細な質問にも丁寧に答えていただいた。
- ・質問の答えから自分なりの考えをもてることができたから。

- ・多角的な意見交流ができ、知識が深まった。
- ・実の有る楽しめるものになったから。
- ・色々な意見が聞けて楽しかった。
- ・自分の疑問について専門家と話すことができたから。
- ・自分たちの疑問を中心に話が広がり、知りたいことを聞けたから。
- ・自分とは異なる視点からの意見も聞けたから。
- ・とてもわかりやすく、聞いていて楽しい話ばかりだったから。
- ・自分にはなかった視点のいけんが得られ、深みがあった。
- ・質問になんでも答えてくれた。

ある程度満足した；4名

理由：

- ・自分の望んだ内容だったから。

やや不満だ、大いに不満だ：0名

(3) 事前に聞きたいと思っていた事は聞けましたか？

十分聞くことができた：19名。あまり聞けなかった：1名。全く聞けなかった：0名

(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？

- ・やはり原発は必要だと思う。
- ・脱原発はデメリットが多い。自然エネルギーの高すぎるハードル。
- ・原子力発電の必要性と課題。
- ・放射線に対する無知から来る恐怖感が少し和らいだ。
- ・原発と新エネルギーに関する新たな知見が得られた。
- ・エネルギー問題が逼迫している事実気付かされた。
- ・原発やその他の発電方式の抱える問題と課題が明確になった。
- ・エネルギー問題の多様性知ることができた。
- ・原子力は難しい問題でどれが政界で決められない問題だと再認識した。
- ・放射線の人体への影響。福島事故の詳細。エネルギー問題全般。
- ・様々な視点からの意見、知識。
- ・原発に対する自分の意見をまとめられるようになった。
- ・知識、大学生活の過ごし方、今後の福島のことなど得られたこと p とは非常に大きい。
- ・エネルギー供給の大変さ。自然エネルギーの開発がまだ進んでいないこと。メリット、デメリットをきちんと考えなければいけないこと等。

(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？

非常にある：20名

理由：

- ・原子力に直接関わってきた方たちから直接聞くことができたから。
- ・原子力の知識が深まったから。
- ・専門家の意見を生で聞けたから。
- ・メディアのフィルターを通さずに対話することは理解も早いし、得るものがとても多かった。
- ・文系で日頃聞けない話を直接聴けたのは貴重な経験で対話できて本当に良かった。
- ・原子力問題は原子力という狭い視点から考えるのではなく、エネルギー問題全般として考えることに学生は気づいていないから。
- ・メディアだけでは得られない知識を得ることのできる場だから。
- ・ためになる話を聞けるから。
- ・講義だけではまとめられない意見や疑問について複数の専門家のそれぞれの立場からの回答が得られるから。
- ・世代を超えた対話は世に出ても必要だから。
- ・専門家の知識、体験、体感は非常に貴重。
- ・専門家から詳しく話を聞くことで、価値観が変わったり、知識が広がったりするから。
- ・専門家の説明でかなりの勉強になったから。
- ・生の声を聴く事は心に響くから。
- ・わからないことをすぐ訊ける場は大切だから。
- ・対話で疑問を解消できる。その疑問から派生した知識を得られるから。
- ・経験、知識の豊富なシニア行動力のある若者との話し合いで今までにない発想が生まれる。
- ・放射線、原子力に対する思いが変わるから。

ややある：0名。

あまりない：1名。

理由：

- ・メディアと大きく異なる意見はなかったと思うから。

全くない：0名。

(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいとおもいますか？

まだまだ話たりないので、参加したい：3名。

もっと知識を増やしてから参加したい：15名。

十分話ができたらもういい：1名。

二度も必要ないと思うからもういい：1名。

その他1名。理由：直接出なくても資料で回答してもらえば良い。

(7) エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した：9名。

理由：

- ・自然エネルギーの課題が明らかになったから。
- ・原子力発電を悪いものと思っていたが、今の日本にとってなくてはなかに物であることがわかったから。
- ・どちらかといえば、脱原発だったが、色々な意見を聞いて、多様な資源の組み合わせが必要と思うようになったから。
- ・各種エネルギーのメリット、デメリットを考え対策を取らなければならない事を知ったから。
- ・各種発電方式によるコストやCO₂排出量を見て危機感を感じたから。
- ・思っていた以上に深刻な状況だと思ったから。
- ・原発はだめだ、自然エネルギーだという簡単な話ではなく、さまざまな視点から考慮しなければならないと感じたから。
- ・エネルギー供給がこんなに大変とは思っていなかったから。

多少变化した：10名。

理由：

- ・火力や水力発電についても話を聞くことができたから。
- ・火力発電が思っていたより当てにならないことがわかったから。
- ・原発以外の発電方式が思っていた以上に有効ではないことがわかったから。
- ・曖昧な知識しかなかったから。
- ・様々な考えに触れることができた。大筋では同じように考えていたから。
- ・まだ大切な所が欠落した意見が多い気がしたが、基本的なベクトルはかわらなかった。
- ・エネルギー資源の枯渇や経済の問題が近未来に重大になると思ったから。

あまり変化しなかった：1名

理由：元々持っていた意見がそのまま聞けたから。

全く変化しなかった：0名。

(8) 原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した：7名。

理由：

- ・まだ国内での必要性は高いと思ったから。
- ・原子力発電は簡単にとって変わらないと思ったから。
- ・メディアで扱う内容が偏りすぎて問題提起や解決につながっているとは言えない事

実を知ったから。

- ・原子力発電は環境にやさしく、他の発電方式と比較すると圧倒的に効率が良いということが判ったから。
- ・そもそも知識が不十分だったので、今回の対話で意見をある程度固めることができたから。

多少変化した：11名。

理由：

- ・原子力は我が国にとって非常に大きな存在だと知ったから。
- ・原発が100%駄目と言い切れなかったから。
- ・コスト、環境の面で他の発電方式と比較できたから。
- ・自分の意見を大きく変えるまでには至らなかったため。
- ・原子力発電を主体としていくのではなく、多様なエネルギーをバランス良く利用していくことが有効と知ったため。
- ・原子力は本当に安全なのか、そもそも安全とは何かよくわからなくなった。
- ・原子力の実状を知ったり、また原子力は良く考えられていて使われていると知ったから。
- ・安全面に難あること以外は非常に優秀な発電方式であるから。
- ・安全性をもっと高めれば有用なものだと思ったから。

あまり変化しなかった：3名。

理由：元々それほど悪い印象を持っていなかったから。

- ・以前から原子力は必要と思っていたから。

全く変化しなかった：0名

(9) 原子力発電の最近の動向について

9-1) 大飯原子力発電所の再稼働についてどう思いますか？その理由は？

再稼働に賛成：2名。

理由：

- ・以前から原子力は必要と思っていたから。
- ・電気料金の上昇、経済の低迷を避ける必要があるから。

再稼働はやむを得ない：9名。

理由：

- ・原子力発電が一番EPRが高いから。
- ・電力が足りないと経済への影響が大きいから。
- ・関西の電力状況からめいて再稼働せざるを得ないから。
- ・日本にとって原発は必要だから。
- ・原子力以外では電力を供給しきれないと思うから。

- ・電力不足が深刻になるから。
- ・そもそも廃止できるものではない。
- ・電力供給の安定が最優先。
- ・ただし安全性については、十分に改善してから再稼働してほしい。
- ・原子力発電が一番 EPR が高いから。

どちらとも言えない：7名。

理由：

- ・再稼働の必要性は理解するが、大飯には活断層があるとも言われており、リスクとベネフィットの見極めが必要だから。
- ・国民が十分に納得できる説明が必要だから。
- ・原子力の必要性は理解するが、世論、地元住民の意向を考えると判断が難しいから。
- ・エネルギーは必要だが、それを決めるのは国民だから。
- ・個々のケースでは何とも言えない。

再稼働すべきではない：2名。

理由：

- ・政府の説明が足りなさすぎるから。
- ・活断層など問題があるなら、やめたほうがよい。

9-2) 停止中の他の原子力発電所の再稼働についてどう思いますか？その理由は？

再稼働に賛成：2名。

理由：

- ・原発の穴埋めができないから。
- ・そもそも廃止できるものではない。

再稼働はやむをえない：10名。

理由：

- ・火力による発電の限界があるため。
- ・原子力は絶対的に必要だから。
- ・原子力以外には頼れないから。
- ・エネルギーコスト上昇を抑えることが必要だから。
- ・資源の枯渇や経済の低迷の懸念があるから。
- ・電力供給の安定が必要だが、安全をもっと強化することが必要。
- ・コスト安定性から必要。
- ・我が国の電力に原子力は欠かせない。

どちらとも言えない：6名。

理由：

- ・全て再稼働では今までと変わらない。新しいエネルギー源を確保してから再稼働の必要性を論ずるべき。

- ・地元住民との話し合い次第と思うから。
- ・電力の不足かどうかは生活の仕方が変わるから。
- ・再稼働の必要性は理解するが、現在の原発は多すぎる。バランスと安全を考えることが必要。
- ・官民あらゆるひとたちとの議論がもっともっと必要。

再稼働すべきではない：3名。

理由：

- ・政府の説明が足りなさすぎるから。
- ・原子力は危険。電力は再稼働できない時の対策をとっていないことに納得できないから。

(10) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・エネルギー産業の現実を知ることができて、とても有意義だった。
- ・原子力について考える非常に良い機会であった。
- ・国民一人ひとりが正しい知識をもって冷静な判断をしていく必要がある。
- ・様々な話が聞けてよかった。
- ・忙しい時期をぬって参加したが、価値あるものであった。日々正しい知識を身につける努力をし、常にアンテナを張り巡らせていくことが必要であることを改めて感じた。
- ・反原発の専門家を交えたダイアログがあれば、より深く理解できるかもしれない。
- ・色お色な方の意見を聞けてとても楽しかった。
- ・とても有意義だった。再度あればもう一度参加したい。もっと細分して少人数のほうが良いかもしれない。対話の時間をあと30分でも長くしてほしい。
- ・こういう機会がもっと日常的になれば原発の問題もこれからの日本もより良い方向になるのではないかと感じた。
- ・国民の原子力に対する信頼を取り戻すのは難しいかもしれないが、線などで通じて頑張りたいと思った。

以上。